1.1 民間企業等による再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業／新たな手法による再エネ導入・価格低減促進事業／
地域における太陽光発電の新たな設置場所活用事業

①地産地消のお酒造りに取組む酒造事業者がエネルギーも地産地消へ

株式会社吉田酒造店（石川県白山市／飲料・たばこ・飼料製造業）

【HP】https://tedorigawa.com/ 【備考】ー

赤文字：該当箇所 | 灰色文字：該当外

補助事業の紹介

補助事業名	民間企業等による再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業 ／新たな手法による再エネ導入・価格低減促進事業
補助事業の概要	① 建物における太陽光発電の新たな設置手法活用事業 ② **地域における太陽光発電の新たな設置場所活用事業** ③ オフサイトからの自営線による再エネ調達促進事業 ④ 再エネ熱利用・発電等の価格低減促進事業 ⑤ 新たな再エネ導入手法の価格低減促進調査検討事業（※委託事業） ⑥ 熱分野・寒冷地での脱炭素化先行モデル創出事業
実施目的	地域の再エネポテンシャルを有効活用するため、地域との共生を前提とした上で、新たな手法による太陽光発電の導入・価格低減を促進すること。 再エネ熱利用、未利用熱利用、自家消費型再エネ発電等の導入・価格低減を促進すること。
交付対象	**民間事業者・団体等**
補助率	① 1/3（補助上限額：1億円） ② **1/2（補助上限額：1億5,000万円）** ③ 1/3（補助上限額：1億円／年） ④ 計画策定事業：3/4（補助上限額：1,000万円） 設備導入事業：1/3又は1/2（補助上限額：1億円／年） ⑤ ー ⑥ 計画策定事業：3/4（補助上限額：1,000万円）、設備等導入事業：2/3（補助上限額：3億円／年）

①地産地消のお酒造りに取組む酒造事業者がエネルギーも地産地消へ

事業の概要

補助金額	補助金額	約1,350万円
	補助率	1/2
導入設備	従前設備	なし（新設のため）
	導入設備	太陽光発電設備 （垂直型ソーラーシステム）
事業期間	稼働日	2024年4月
備考	導入台数	垂直型太陽光発電　1式



太陽光発電設備（垂直型ソーラーシステム）

事業の効果

エネルギーコスト
▲約183（万円／年）

投資回収年数
14.7（年）→ **7.4**（年）

CO_2削減効果
約49（t-CO_2／年）

CO_2削減コスト
約1.6（万円／t-CO_2）

副次的効果

- **従業員が発電量のモニタリング機器を確認することで、電力消費量への意識づけになった**
- **地域の農業関係者に対し、取組みをPRすることができるようになった**

事業者の声



吉田 泰之｜**代表取締役社長**

昨今の日本酒はとても美味しくなりましたが、以前と比べてとても電気を使う産業になってしまいました。もう一度自然と共存出来る酒造りを目指して、この営農型の垂直型ソーラーシェアリングを導入することに致しました。

農業にもほとんど支障がなく、この田んぼでも年間で約100,000kw発電してくれます。まだまだ時間はかかりますが、今後は全量自社発電を目指して取り組んでいこうと思います。